AKRAPOVIC EXHAUST SYSTEM
取扱説明書

● この度はAKRAPOVIC EXHAUST SYSTEMをお買い上げありがとうございます。取り付け前には本取扱説明書を熟読し、内容をよくご理解の上、正しい取り付けを行いお使用ください。
● この取扱説明書はいつでも取り出して読めるようにし、製品を破棄するまで大切に保管しておいてください。
● この製品もしくはこの製品を取り付けた車輌を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この度は、本製品をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。本書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。取り扱い説明書の指示及び警告、注意に反したご使用により損害が発生した場合、当社はその責を負いかねますのでご注意ください。

⚠ 危 険　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

● エンジン始動時及び停止直後はしばらくの間、エンジン・マフラー等は高温になっており、必ず冷間時に作業をすること。
（触ると火傷をする恐れがあります）

● ガソリンは非常に引火しやすいため、作業場所は火気厳禁のこと。また近くにガソリン等の危険物や可燃物を置かないこと。
（火災の原因になります）

● 作業を行う際は水平な場所で車輌を安定させた、安全な状態で作業を行うこと。（ オートバイが転倒し怪我をする恐れがあります）

● 構造上最低地上高が低くなる場合がある為、マフラーを接地させる無理な運転操作や段差等でマフラーを擦らないこと。
（転倒による怪我や死亡事故につながる恐れがあります）

● 排気ガスには有害成分が含まれているため、換気のよいところで作業を行うこと。（一酸化炭素中毒等になる恐れがあります）

⚠ 警 告　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を指示しています。

● ボルト・ナットはサービスマニュアルに従い規定トルクを厳守してください。
（締め付け不良はボルト・ナットの破損、部品の脱落等につながる恐れがあります）

● 取り付けは技能・知識のある方を対象としております。整備資格のある販売店または認証工場で行ってください。
（製品の機能が損なわれ故障等の原因になります）

● 当社指定車種以外には取り付けは行わないでください。
（製品の機能が損なわれ故障等の原因になります）

● お客様ご自身による分解・改造・修理は危険ですので行わないでください。修理の際は、お買い上げ販売店または当社までご連絡ください。

● 法定速度を厳守して安全運転を心がけてください。

⚠ 注 意　誤った取り扱いをすると、人が傷害および物的損害を負う可能性が想定される内容を指示しています。

● 取り付けの際には、整備に適した作業着・帽子・安全靴を必ず着用し、必要に応じて防塵眼鏡・防塵マスク・手袋等の保護用具を着用して身体を守ってください。

● 製品取り付け後は、ボルト・ナット等を約100km走行後改めて規定トルクで増し締めを行ってください。また500km毎に定期点検を、お客様の責任において行ってください。

● 製品取り付け後は、走行前に必ず走行に関する機能が正常であることを確認したうえで走行してください。

● 走行中に異常が発生した場合は、直ちに走行を中止し安全な場所に停止して異常箇所の点検を行ってください。

● パイプのエッジ部に気をつけて作業を行ってください。
（エッジ部は肉厚が薄い為、手を切ったり怪我をする恐れがあります。

■ 共通注意事項

● マフラー脱着時、エキゾーストガスケットは必ず新品をご使用ください。
・　（排気漏れ原因及びマフラーの性能が発揮されなくなる恐れがあります）
● 各パイプが確実に差し込まれていることを確認してください。
・　（エンジン不調・カウルの破損等につながる恐れがあります）
● マフラーがエンジン・カウル等に接触していないことを確認してください。接触している場合は再度、初めから取り付け作業を行ってください。
・　①点検項目：エンジン関連・サスペンション関連・リヤブレーキ関連・スイングアーム関連・外装関連・電装品関連・冷却機能関連
・　②マフラーとカウルには最低10mmのクリアランスが必要です。
・　（クリアランスが確保できない場合は、カウルをカットするか、カウルに断熱材を貼り付けるか等の熱対策を行ってください）
● サイレンサーの消音材は消耗品です。
・　（サイレンサーの外側スリーブに変化があった場合、又は、騒音レベルが増加した場合にはインナーウールの交換を行ってください）
● 排気デバイスの処理方法は車種により異なります。車種別マニュアルを参照し、必ず指示に従ってください。
・　（誤った処理方法をするとエンジンを破損する恐れがあります）
● エンジン始動前には、マフラー・サイレンサーの汚れ・指紋・油脂類等を脱脂してください。
・　（汚れが焼き付き、取れなくなる恐れがあります）
● アフターファイヤーがする・燃費が悪くなった・低速でもたつく等の症状がでる場合は
・　①TPS（スロットルポジションセンサー）をサービスマニュアルを参照して調整してください。
・　②各パイプの接合部分に耐熱液体ガスケットを使用し、組み立ててください。
● サイレンサーバンドには向きがあります。サイレンサーが車体の中心線と平行になるように取り付けてください。
● チタンサイレンサーとカーボンサイレンサーでは外径の大きさが異なります。専用のサイレンサーバンドを使用してください。
・　（サイレンサーが正しく固定されず変形・脱落する恐れがあります）
● 吸気系のセッティングがあっていない状態で走行しますと、消音材の消音効果が減少します。
・　①濃い場合：サイレンサーウールにカーボンが付着し、消音効果が減少します。
・　②薄い場合：サイレンサーウールが高温の熱により、飛散し消音効果が減少します。
● 各パイプのクリアランスは排気漏れを抑える為に最小限に設定されています。
・　（落下・強打等をすると変形し差し込めなくなる恐れがあります。取り扱いには十分注意してください）
・　（差し込み時には粘度の低い潤滑剤（CRC・WD-40etc）を塗布して組み立ててください）
● チタンパイプには付属のグリスを、パイプ内側に少量塗布して組み立ててください。
・　（グリスに付属の取扱説明書を参照のこと）
● チタンサイレンサーに付着した汚れは、オイルリムーバー等ではなく粘度の低い潤滑剤（CRC・WD-40etc）を使用して拭き取ってください。
・　（サイレンサーが変色する恐れがあります）

★タイプ別注意事項

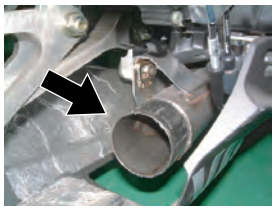
■ ボルトオンライン

★酸性クリーナー使用禁止★

ボルトオンサイレンサーを清掃・メンテナンスする場合に、自動車用ホイールクリーナー又は酸性の添加物の入ったクリーナーでの清掃を行わないでください。
サイレンサー入口のアルミブロック部が酸の侵食により腐食し、大きなダメージ(破損・変形)につながる恐れがあります。

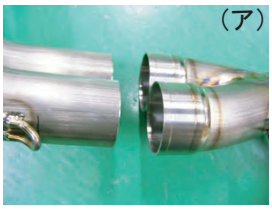
■ スリップオンライン

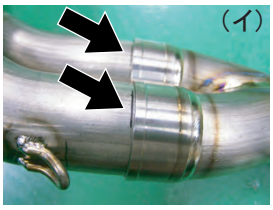
1) ノーマルエキゾーストパイプ差し込み口のガスケットは使用しません。取り外してください。

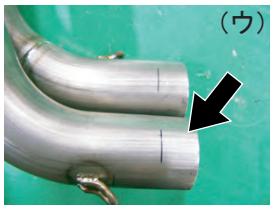


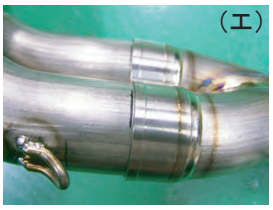
■ レーシングライン　■ エヴォリューションライン

1) マフラー組み立て前に
(ア)各パイプを確実に差し込むために、一度各パイプを全て分解します。
(イ)各パイプを奥まで差し込み、マジック等でマーキングします。
(ウ)各パイプを再度分解し各部が均一に差し込まれていることを確認して、取り付け作業を行ってください。
(エ)組み付け後、マーキングまで確実に各パイプが差し込まれていることを確認して、マーキングを消します。









2) インナースリーブには向きがあります。座面の大きい方がエンジン側になります。
3) フランジには向きがあります。インナースリーブが収まる段が付いている方がエンジン側になります。
4) フランジボルト･ナットは左右均一に締めこんでください。

⚠ ハーレー用 警 告 事 項

★ 本製品の装着後、最低地上高が低くなる場合があります。段差の乗り越えやコーナリング等において、マフラー・エンジン等を接地させる無理な走行は非常に危険ですので絶対に行わないでください。
スプリングのプリロード調整等で地上高の改善をお勧めします。

製品に関するご不明な点やご質問がございましたらお気軽に当社までお問い合わせください

株式会社 アクティブ

〒470-0117 愛知県日進市藤塚七丁目５５番地
TEL 0561-72-7011 (代) FAX 0561-72-7012
ホームページ http://www.acv.co.jp
E-メール・ info@acv.co.jp

110820KIT01

AKRAPOVIC OWNERS MANUAL

この度はAKRAPOVIC EXHAUST SYSTEMをお買い上げありがとうございます。取り付け前に必ず下記注意事項をお読み下さい。

1. 取り付けはプロのメカニックもしくは認証工場で行って下さい。
2. エンジン停止直後は、火傷をする恐れがありますのでマフラー、エンジン等、車体が冷えている状態で作業を行って下さい。
3. 取り付け前に必ず、車種専用サービスマニュアルを用意して作業を行って下さい。
4. 取り付け後必ずボルト、ナットの締め忘れが無いよう確認して下さい。
5. 取り付け走行後１００kmでボルト、ナット類の増し締めを行って下さい。
6. 定期点検は必ず行って下さい。
7. 交換中のキズ防止のため、車体下に毛布またはダンボール等を敷いて作業を行ってください。
8. ケガ等を防ぐため、保護手袋を使用してください。
9. このマフラーは専用です。他車には取付けできません。
10. エキゾーストポートのガスケットは新品に交換して下さい。

■ 取り付け方法 (裏図参照)

1. サービスマニュアルを参照し、スタンダードマフラーを取り外します。
2. エキゾーストパイプからフランジとインナースリーブを取り外し排気ポートに取付けます。
   （エキゾーストガスケットは新品に交換して下さい。）
   マフラーフランジにはスプリングの取り付穴があります。スプリングがエキパイに干渉しないように取付け前に確認して下さい。また、フランジナットは均一に締め込んで下さい。片側のみ締め付けるとスタッドボルトが曲がったり、排気漏れの原因になってしまいます。（規定トルクはサービスマニュアル参照）
   ※一部の車種でスタットボルトを付属のものと交換する必要があります

ADVICE！

全てのパーツの仮組みが終わるまではスプリングはかけないで下さい。
エキゾーストパイプが仮組の状態で梱包されていますが、一度すべてバラしてから組み付けてください。排気漏れ・取り付け不備の原因になりますので、必ず上記を守って下さい。

3. エキゾーストパイプを排気ポートに差し込みます。
4. コレクターをエキゾーストパイプに差し込みます。潤滑剤を塗布すると差し込みやすくなります。
5. テールパイプをコレクターに差し込みます。
6. サイレンサーをテールパイプに差し込みます。
7. バンドをサイレンサーに通し、サイレンサーステーに純正のボルト、ワッシャー、ナットを使用して仮止めします。（車種によっては付属のボルト・ナット等を使用します。）
8. サイレンサーとエキパイにスプリング取り付け工具を使いスプリングをかけ固定します。
9. マフラーが車体と干渉しないかを確認してください。カウル、オイルパン、リヤブレーキペダル踏み込んだ時点の位置）等。

＊ 干渉する場合は全てのスプリングを外し、再度位置を合わせて下さい。
特に、マフラーがカウルと干渉したまま走行しますと、カウルが溶ける恐れがありますので注意が必要です。
又、マフラーとカウルとのクリアランスが少ない場合は、耐熱シート等を貼って下さい。

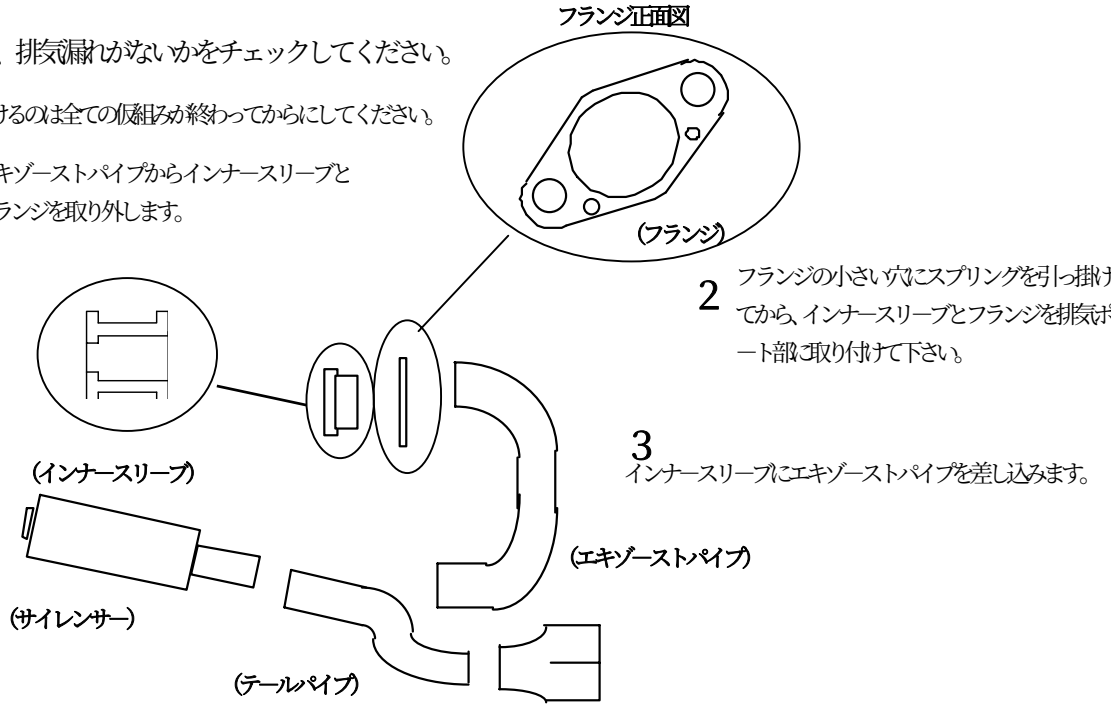
10. サイレンサーバンドのボルト、ナットを締め付けます。（締付トルクはサービスマニュアル参照）
11. 各部の干渉がないかを再度、確認します。

■ 始動する前に

注意！ ・エンジンを始動する前に、必ずマフラー表面を脱脂してください。（脱脂が不十分の場合、汚れが焼き付く恐れがあります。）
・エンジンを始動させ、排気漏れがないかをチェックしてください。

スプリングをフックに引っ掛けるのは全ての仮組みが終わってからにしてください。

1 エキゾーストパイプからインナースリーブとフランジを取り外します。



2 フランジの小さい穴にスプリングを引っ掛けてから、インナースリーブとフランジを排気ポート部に取り付けて下さい。

3 インナースリーブにエキゾーストパイプを差し込みます。

4 コレクターをエキゾーストパイプに差し込みます。
この時、エキゾーストパイプがインナースリーブの奥まで入っているかを確認して下さい。

5 テールパイプをコレクターに差し込みます。

6 サイレンサーをテールパイプに差し込みます。

7 サイレンサーバンドを仮止めします。カウル付きの車両は、カウルをあてて干渉がないかを確認します。

8 フランジを固定し、スプリングを取り付けます。エンジン側から順に取り付けて下さい。

9 サイレンサーバンドを固定します。再度、各部干渉がないかを確認してください。

インナースリーブ・フランジの取り付け方向の説明

AKRAPOVIC 全商品のインナースリーブとフランジは梱包上エキゾーストパイプに取り付けたままの出荷となりますので、開梱後エキゾーストパイプからインナースリーブとフランジを取り外す時にその向きを覚えておいて下さい。
インナースリーブとフランジを取り付ける時は向きに気を付けて取り付けて下さい。

株式会社アクティブ
愛知県日進市藤塚7丁目55番地　〒470−0117
TEL 0561−72−7011　FAX 0561−72−7012
ホームページアドレス http://www.acv.co.jp

01/08/07